

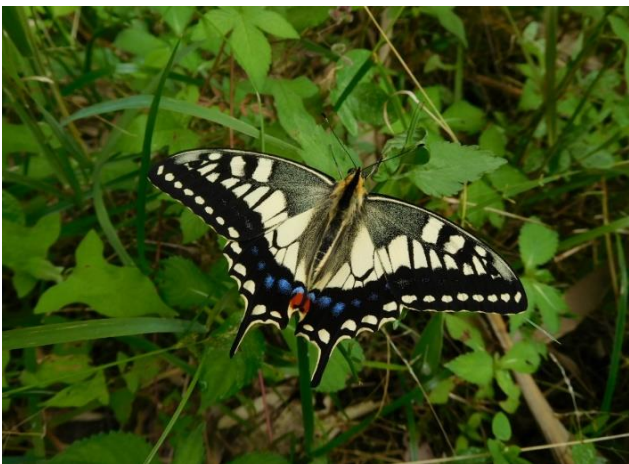
和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
キアゲハ	アゲハチョウ科	代表的なアゲハチョウ	○	○	○	全国



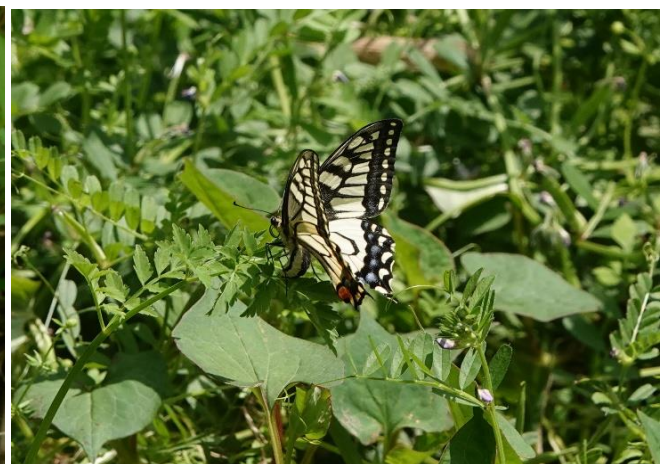
多摩川土手 中野島 9月上旬 キバナコスモスで吸蜜



生田緑地 6月初旬 羽化したて



生田緑地 6月上旬 後羽の模様・色はなかなか渋い



生田緑地5月上旬 セリに産卵

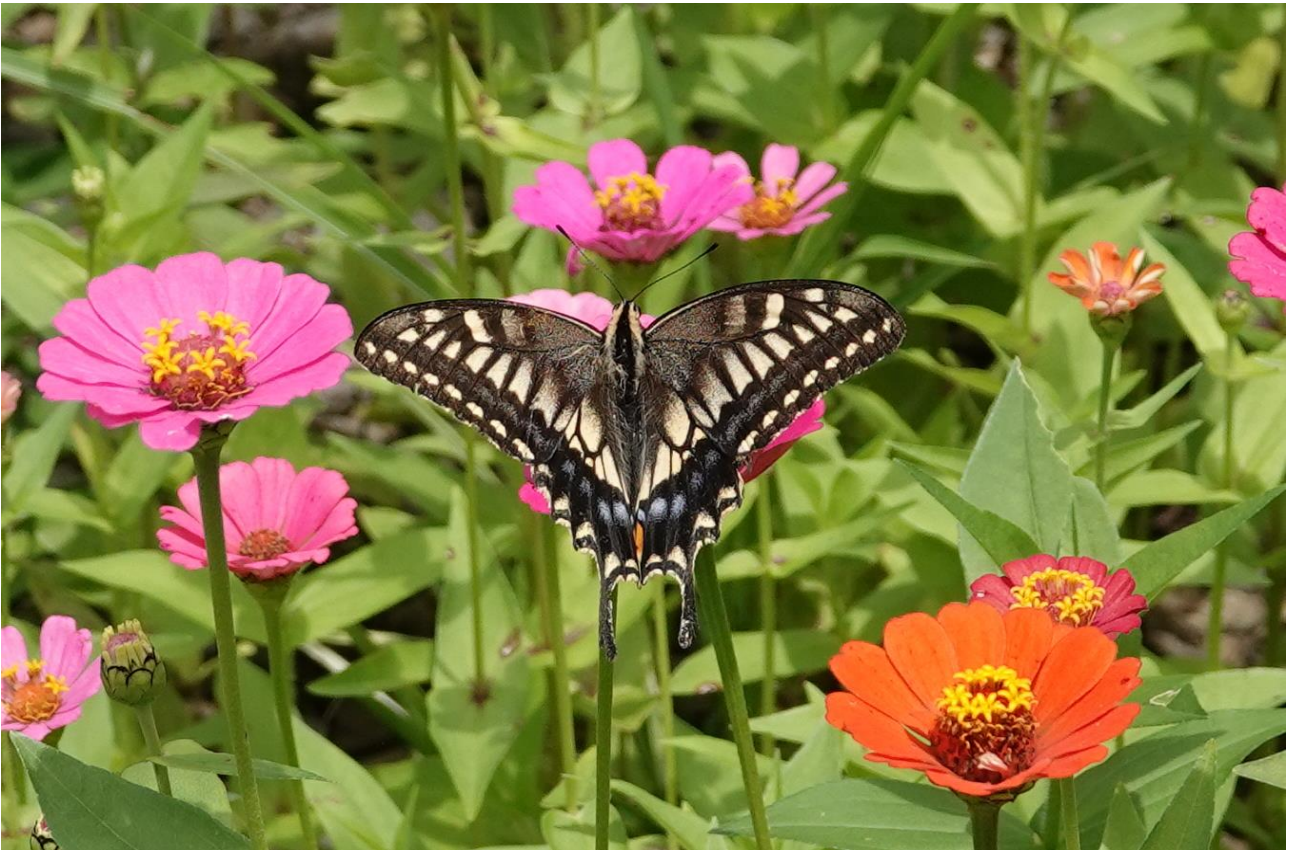
成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○	食草	食樹	発生回数/年				越冬形態				
パセリ、ミツバほか			3~4				蛹 (さなぎ)				

ミカンやサンショウを丸坊主にしてしまうアゲハ（ナミアゲハ）と並んで最も代表的なアゲハチョウの一つです。ただ幼虫時代に食するのはアゲハのような木の葉でなくパセリやミツバといったセリ科の草です。アゲハの食樹のミカン類、サンショウなどは多摩川土手を離れるとあちこちにあるのに対しこの周辺でキアゲハの幼虫が何を食べているのかは謎めいていましたが、生田緑地ではセリに産卵している姿を確認しています。

羽の模様や紋の配置・配色を目の当たりにする機会はまれですが、運良く羽化したてでじっとしている蝶に巡りあうと、その微妙なデザインに感動と驚きを覚えます。



生田緑地 6月初旬 羽化して羽が伸びたばかりのキアゲハ



山梨県韮崎 7月中旬 ヒャクニチソウで吸蜜する